

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 6 部門第 2 区分

【発行日】 平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】 特開 2004-258621(P2004-258621A)

【公開日】 平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)

【年通号数】 公開・登録公報 2004-036

【出願番号】 特願 2003-410279(P2003-410279)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/1345

G 0 3 B 21/00 E

G 0 9 F 9/00 3 0 2

G 0 9 F 9/00 3 0 4 B

G 0 9 F 9/00 3 0 9 A

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 12 月 6 日 (2006.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液晶を介して対向配置された各基板を外囲器とする液晶パネルと、この液晶パネルを搭載させるパッケージとを少なくとも備え、

前記パッケージはその一面に凹陥部が形成された金属から構成され、前記液晶パネルは該凹陥部内に搭載され、

該液晶パネルは、その周辺を除く中央部の液晶表示部に開口が設けられ前記パッケージの表面に固着された遮光枠ガラスによって封止されていることを特徴とするプロジェクタ用液晶表示装置。

【請求項 2】

遮光枠ガラスのパッケージに対する固着は気密シールされていることを特徴とする請求項 1 に記載のプロジェクタ用液晶表示装置。

【請求項 3】

パッケージに搭載された液晶パネルと、この液晶表示パネルから引き出される配線基板を具備し、

該配線基板にこの配線基板の両側から接着された各フェライトシートを備え、これらフェライトシートの該配線基板と反対側の面に電磁波に対する反射膜が被着されていることを特徴とするプロジェクタ用液晶表示装置。

【請求項 4】

前記各フェライトシートは配線基板の配線の延在方向に沿って複数設けられていることを特徴とする請求項 3 に記載のプロジェクタ用液晶表示装置。